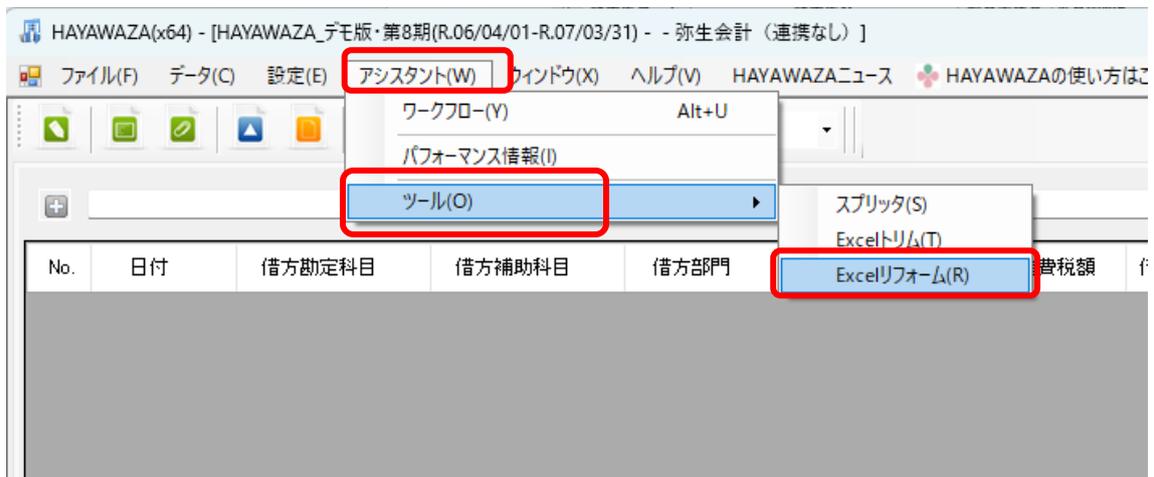


1. EXCEL リフォーム

EXCEL リフォーム機能はデータの列を指定した順番に入れ替えたデータを作成する機能です。

たくさんの項目列があるデータから、データを加工して必要な列のみのデータを作成します。

EXCEL リフォームは「アシスタント」→「ツール」→「EXCEL リフォーム」から行います。

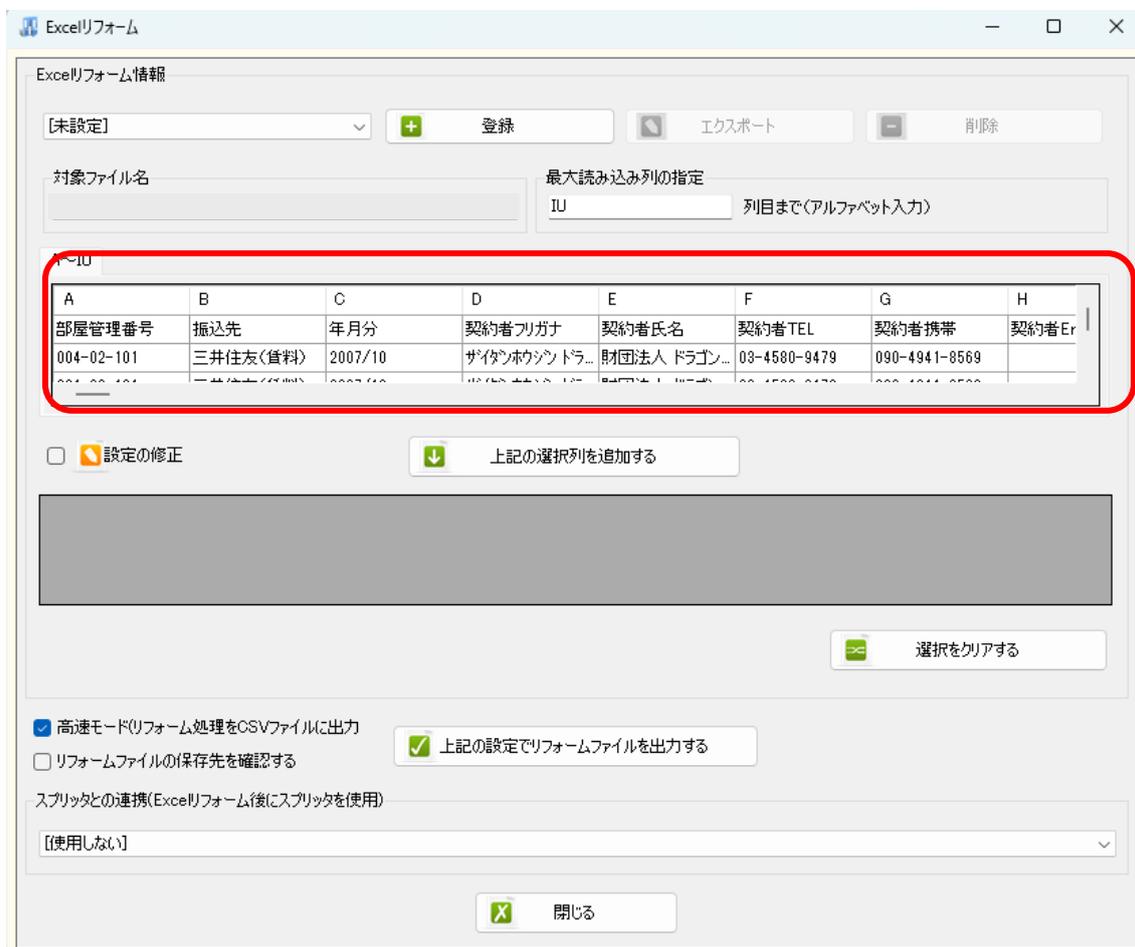


EXCEL リフォームを選択すると下記のような画面が表示されます。

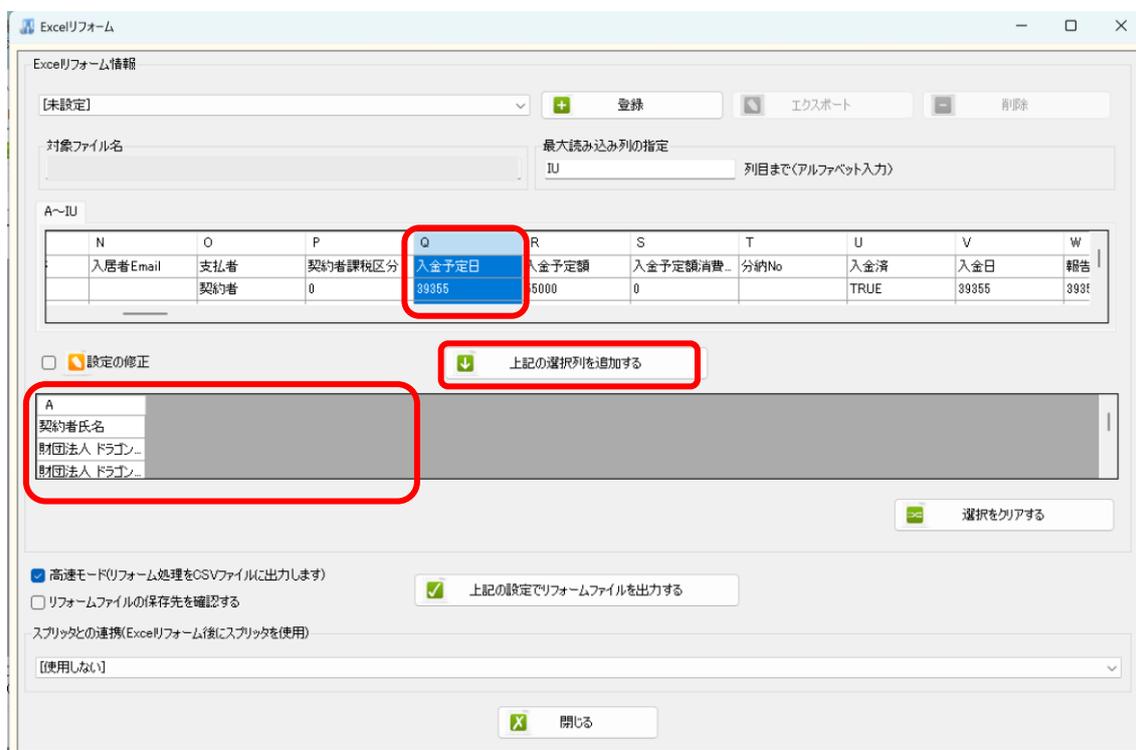


加工したいデータを画面上にドロップします。

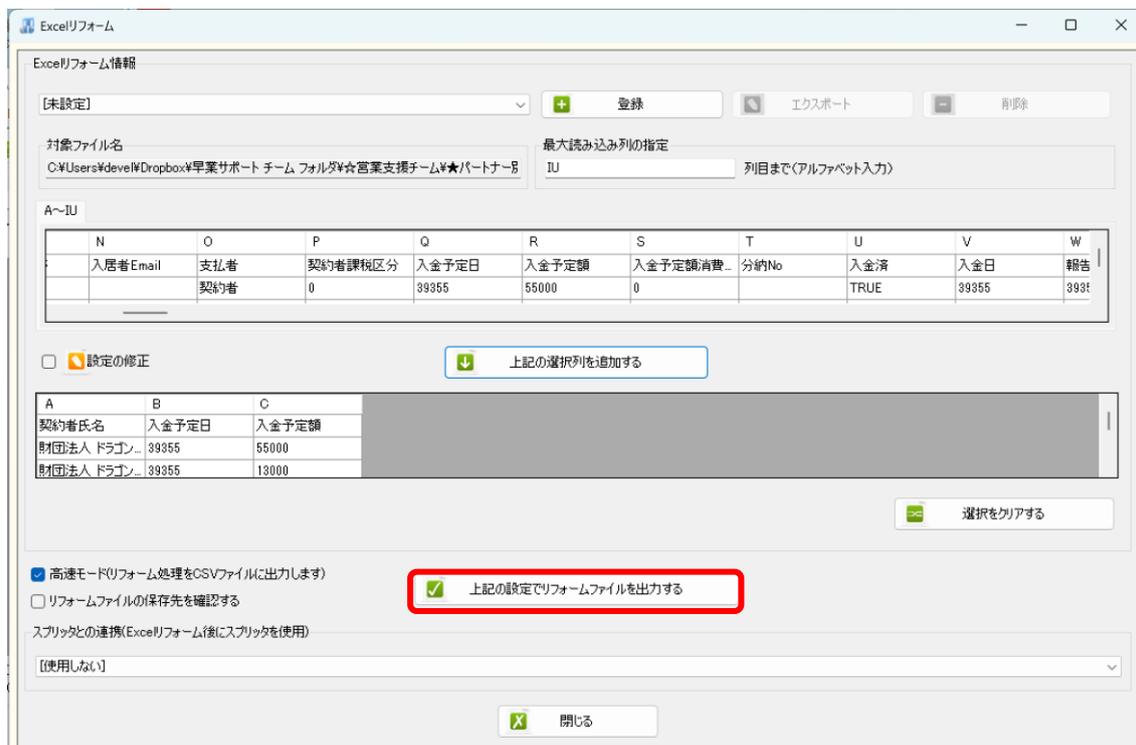
データの解析が行われ、画面上にデータのプレビュー画面が表示されます。



プレビュー画面で、抽出列を選択し、「上記の選択列を追加する」をクリックすると、下のプレビューウィンドウに、選択列が表示されていきます。



設定ができましたら「上記の設定でリフォームファイルを出力する」をクリックします。



列は基本的に、右に順に増えていきます。

修正をする場合は、設定の修正にチェックを入れます。

	入居者Email	支払者
		契約者

 設定の修正

A	B
契約者氏名	入金予定日

挿入する場合は、下のプレビューウィンドウ内で、列を選択後、右クリックをします。

設定の修正 上記の選択データを追加する

A	B	C
契約者氏名	入金予定日	入金予定額
財団法人 ドラゴン...	39355	55000
財団法人 ドラゴン...	39355	

「列を追加」メニューが開き、「右側に列を追加」が選択されています。

高速モード(リフォーム処理をCSVファイルに出力します) 上記の設定でリフォームファイルを出力する

「列の追加」 > 「右側に列を追加」と選択すると以下のように空白列が挿入されます。

A	B	C	D
契約者氏名	入金予定日		入金予定額
財団法人 ドラゴン...	39355		55000
財団法人 ドラゴン...	39355		13000

下のプレビューウィンドウの空白列を選択し、上のプレビューウィンドウから、挿入したい列を選択、「上記の選択列を追加する」をクリックしてください。

A~IU

S	T	U	V	W	X	Y
入金予定額消費...	分納No	入金済	入金日	報告日	入金額	入金額消
0		TRUE	39355	39355	55000	0

 設定の修正  上記の選択列を修正する

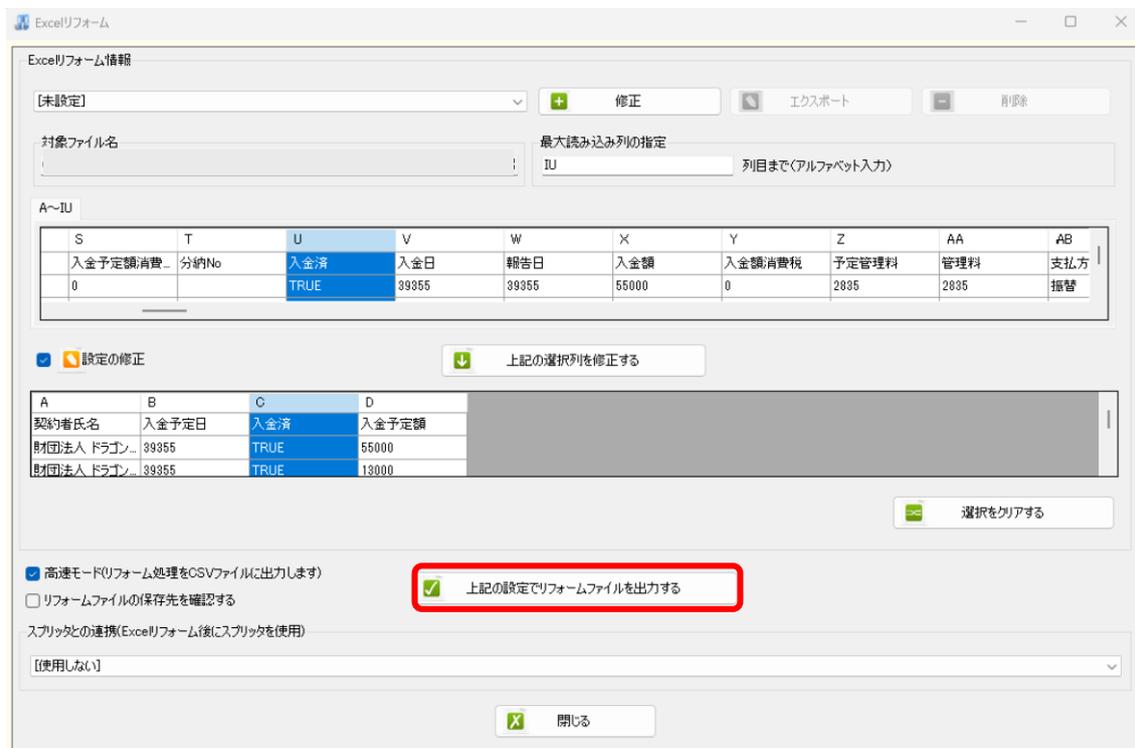
A	B	C	D	
契約者氏名	入金予定日	入金済	入金予定額	
財団法人 ドラゴン...	39355	TRUE	55000	
財団法人 ドラゴン...	39355	TRUE	13000	

以上で挿入が完了します。

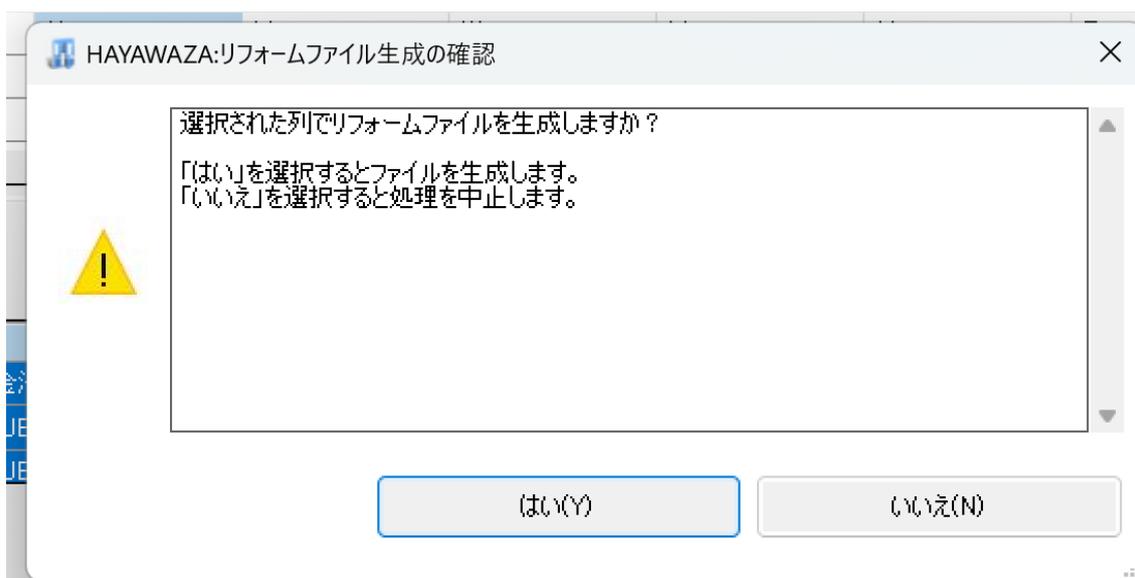
※上書き保存をする場合は、空白列を挿入せず、

下のプレビューウィンドウで列を選択後、上のプレビューウィンドウから上書きしたい列を選択し、「上記の選択列を修正する」をクリックしてください。

抽出したい列の設定が完了したら、「上記の設定でリフォームファイルを出力する」をクリックします。

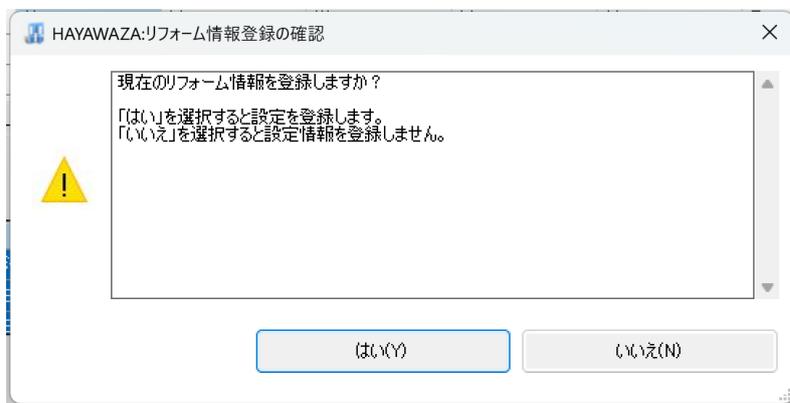


生成の確認画面が表示されます。

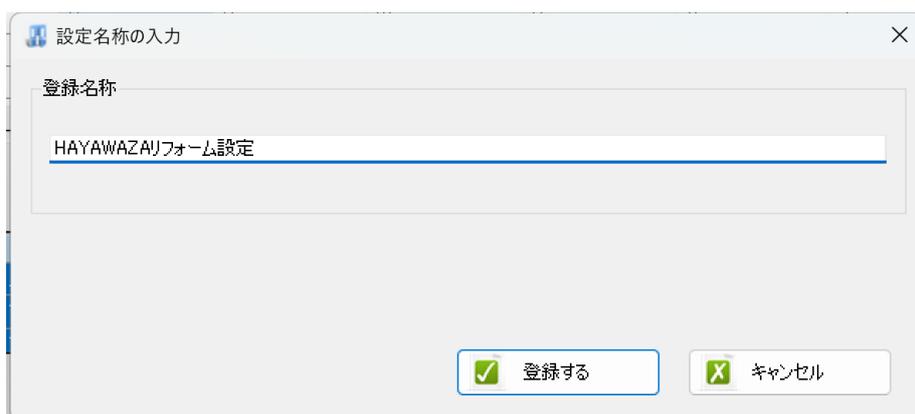


続いて、「リフォーム情報登録の確認」画面が表示されます。

リフォームの設定情報を登録するなら「はい」、処理を中止する場合は「いいえ」を選択します。



登録をする場合は、登録名称を入力して下さい。



登録完了後、このままコンバートすることも可能です。

ファイルは元のデータファイルと同じフォルダ内に生成されます。

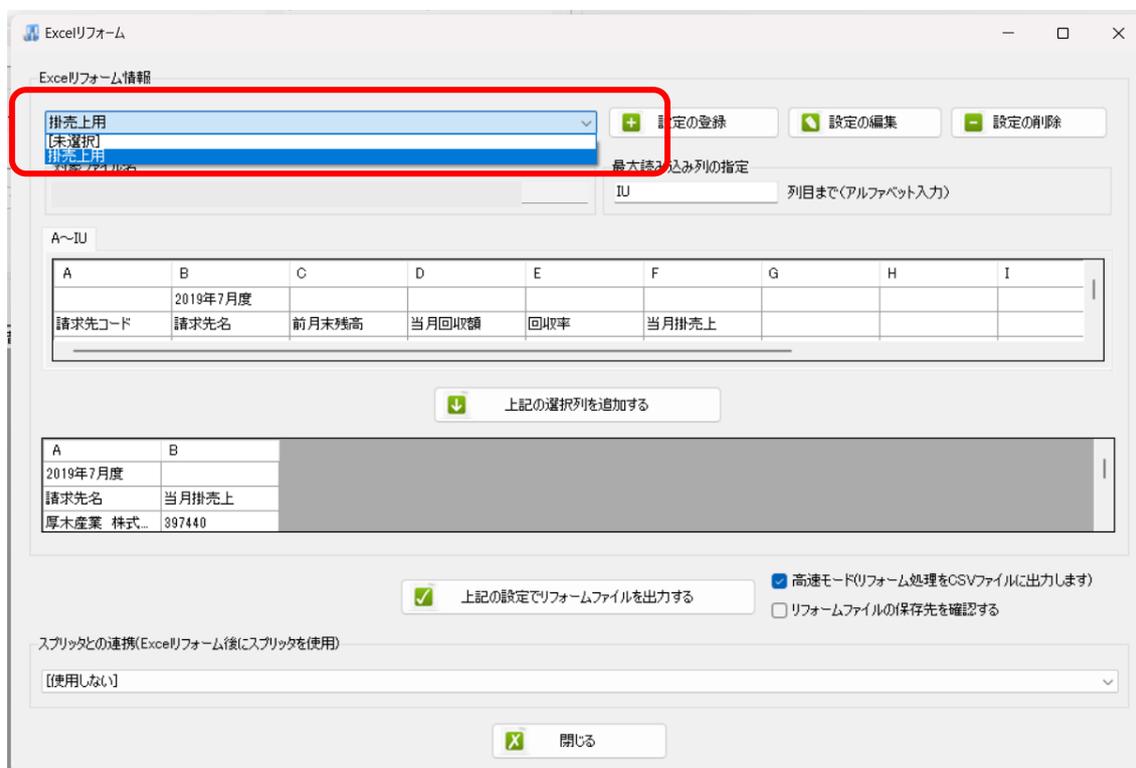
複数シートがある場合、すべてのシートに適用されます。

出力後のファイルでは、下記のように登録した情報のみが生成されます。

<input type="checkbox"/>	設定の修正		上記の選択列を追	
A	B	C	D	
契約者氏名	入金予定日	入金済	入金予定額	
財団法人 ドラゴン...	39355	TRUE	55000	

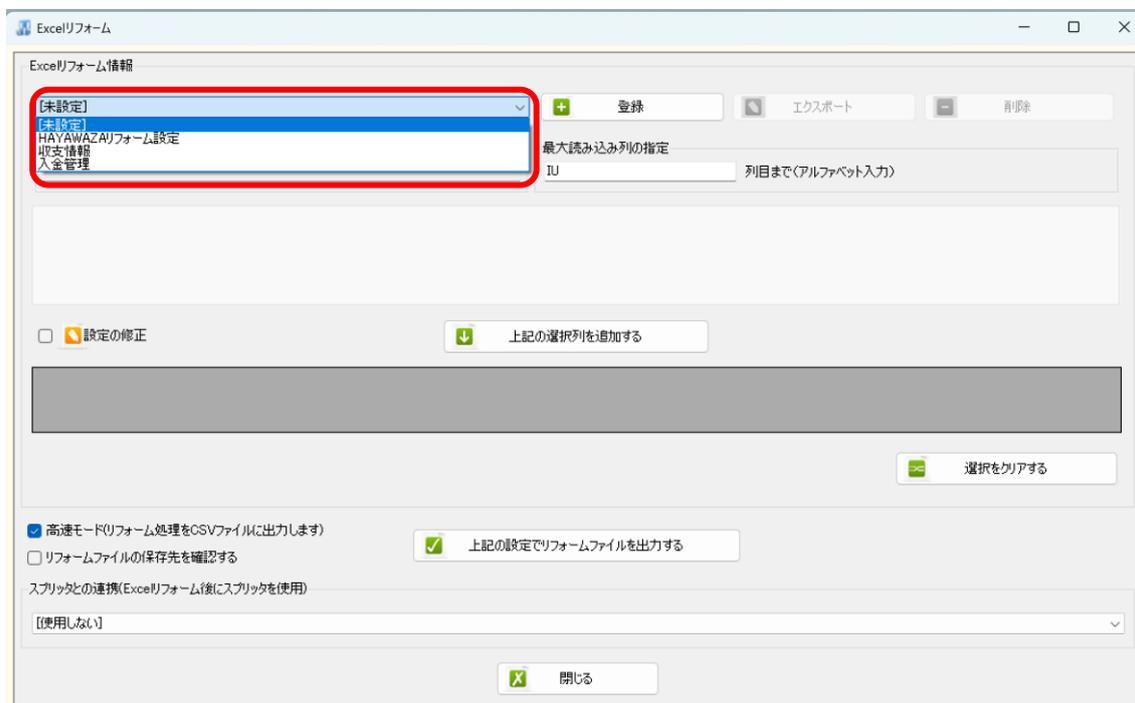
	A	B	C	D	E	F	G
1	契約者氏名	入金予定日	入金済	入金予定額			
2	財団法人 ト	39355	TRUE	55000			
3	財団法人 ト	39355	TRUE	13000			
4	財団法人 ト	39386	TRUE	55000			
5	財団法人 ト	39386	TRUE	13000			
6	中村 好史	39386	TRUE	82500			
7	大貫 哲弘	39386	TRUE	19000			
8	大貫 哲弘	39599	TRUE	95000			
9							
10							

登録が完了すると、上部左のプルダウンで選択ができるようになります。
次回同じ設定を使用する際は、プルダウンから使用したいリフォームの設定を選択してからファイルをドロップしてください。



※ファイルをドロップするとそのままコンバート画面に進みます。
コンバート前にファイルを確認したい場合などは、コンバートを一度キャンセルし、データが保存してあったフォルダ（もしくは保存先に指定したフォルダ）で、生成されたファイルをご確認ください。

一度登録したリフォーム情報は、リフォーム画面で確認ができます。



次回リフォーム使用時は、プルダウンから選択後、画面上にファイルをドロップして、「上記の設定でリフォームファイルを出力する」をクリックして下さい。

リフォーム情報は、Excel パターンと紐付けをすることが可能です。
パターン設定画面の、「登録名称の設定画面」下部に、ツールオプションのタブがあります。

「コンバート時に Excel リフォームを使用する」にチェックを入れ、
紐づけたいリフォームパターンを選択し、パターン設定を更新してください。

Excelパターン登録ウィザード(複合仕訳)[入金管理] - 登録名称の設定(12/13)

登録名称
入金管理 (20文字まで)

登録名称とExcelファイルの関連付け
Excelファイル名に以下の文字列が含まれる場合、現在の登録内容がパターン候補として表示されます

文字列の新規登録
入金管理 (20文字まで)

登録済み一覧から選択

契約
収支
入金管理

文字列を使用しない

スプリットオプション Excelトリムオプション Excelリフォームオプション(*)

コンバート時にExcelリフォームを使用する

入金管理
[未選択]
HAYAWAZAリフォーム設定
収支情報
入金管理

パターンとリフォームを紐づけると、
コンバート前に、自動的にリフォーム処理が始まります。

※必ず、「登録名称と Excel ファイルの関連付け」で文字列を登録してください。
ファイル名とパターンが紐づいていないファイルは、リフォーム処理も自動では行いません。

以上